

事業番号5		平成 24 年度事務事業評価調書			資料01	
事業コード	02070101		区 分	☒ 実行 ☐ 経常		
事務事業名	親子で空中散歩リフレッシュ事業	担当部署名	健康福祉課福祉・子育てグループ			
		作成責任者職氏名	課長 尾谷義彦	内線	340	
第4次総合計画 体系	(基本柱)	(基本施策)	(細施策)			
	02健康・福祉	07子育て支援の推進	01地域における子育て支援			
実施期間	☐ 単年 ☒ 継続 (平成23年度～ 年度)		実施方法	☒ 直営 ☐ 委託 ☐ 補助等		
根拠法令等	☐ 有 ☒ 無 法令等の名称		義務付け	☐ 有 ☒ 無		

I 事務事業の概要<Plan>

(1)事務事業の目的及び内容	(2)対象(誰を対象とするのか)
①目的 村の自然豊かな社会資源を活用し身近で気軽に遊べる「府民の森ちはや園地」の利用を活用することにより、子どもには遊び場の提供や心身の健全な成長を寄与し、親には日頃の育児疲れのリフレッシュなど、親子の絆を深める。	村内在住の小学生以下の児童及びその保護者
②内容 村内在住の小学生以下の児童のいる家庭に「村営金剛山ロープウェイ」の往復乗車券引換券を支給。 (1世帯 大人2枚及び子どもの人数分)	
(3)期待される効果(本事業によって対象者をどのような状態にしたいのか)	(4)事務事業を進める上での課題や問題
・遊び場の提供 ・心身の健全な育成 ・育児疲れのリフレッシュ ・親子の絆を深める ・金剛山ロープウェイ利用客の増(収入増) ・おおさか府民の森ちはや園地利用者の増	大阪府地域福祉・子育て支援交付金の活用 (交付金廃止の場合、事業の継続が可能か)

II 事務事業の実施<Do>

(1)事務事業の事業費及びコスト費								
		22 年度 実績	23 年度		24 年度 事業費(見込)	25 年度 事業費(見込)		
			事業費(予算)	実績(見込)				
事業費(見込含む)(千円)(A)		0	950	222	320	320		
財 源 内 訳	国庫支出金							
	府支出金		950	222	320	320		
	分担金・負担金							
	使用料・手数料							
	起債							
	その他の特財一般財源							
人 件 費	一般職員所要人員(人)(B)		0.05	0.05	0.05	0.05		
	一般職員人件費(平均給与×(B))(千円)(C)	0	311	311	311	311		
総コスト費(千円)(A+C)		0	1,261	533	631	631		
人口あたりコスト(円)		0	205	86	102	102		
(2)成果指標等								
番号	指標区分	指標名称	単位	24 年度			25 年度 目標値	26 年度 目標値
				目標値	実績値	達成率(%)		
①	目標指標	ロープウェイ利用券交付枚数	枚	1,150	949	83%	950	950
②	目標指標	利用者数	人	900	254	28%	300	300
③	目標指標							

○目標指標評価値(達成率平均値) 111% / 2 = 55% (A)

Ⅲ 事務事業の評価<Check>

(1)成果の自己検証			
評価項目	評価結果		評価の理由及びその考え方
①妥当性 ※施策の目的が村の政策体系に貢献しているか	3	4. 大いに貢献している 3. 概ね貢献している 2. あまり貢献していない 1. 貢献していない	事業の目的が、第4次千早赤阪村総合計画第1期実行計画の子育て支援の推進に貢献している。
②有効性 ※期待された効果が得られているか	2	4. 効果がある 3. 一応の効果がある 2. あまり効果がない 1. 効果がない	利用者数が少なく、村民ニーズに的確に応えられていない。
③効率性 ※効率的に進められているか	3	4. 非常に効率は良い 3. 概ね効率は良い 2. あまり効率は良くない 1. 効率は良くない	大阪府地域福祉・子育て支援交付金を活用(100%)
④公平性 ※受益や負担が公平になっているか	3	4. 公平である 3. 概ね公平である 2. 少し偏りがある 1. 公平ではない	小学生以下の児童及びその保護者が無料で利用できる。

○事務事業評価値 (①～④の合計/16)	11	/16	69%	(B)
-------------------------	----	-----	-----	-----

(2)検証結果			
目標指標評価値 (A)	事務事業評価値 (B)	総合評価値 (A)+(B)/2	評価ランク(改善の目安)
55%	69%	62%	C
a: 90%以上(現状維持又は拡充) d: 30～49%(休止・廃止又は縮小) b: 70～89%(見直し又は現状維持) e: 30%未満(休止・廃止) c: 50～69%(縮小又は見直し改善)			

Ⅳ 事務事業改善の方向性<Action>

(1)改善の方向性	
①改善の方向性(自己評価)	
C	← A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
②改善の方向性の理由、改善する上での具体的な改善策や課題等	
利用者を拡大するため周知方法等を検討	

Ⅴ 事務事業評価結果(担当者は記入しないでください。)

(1)政策担当結果	
当該事業は、平成23年度から子育て支援策の一環として実施している。しかし、実施後の子育て家庭利用者数は、利用券対象者の約3割弱程度しか達しておらず、村民ニーズとして有効性は十分とは言えない。 当然ながら利用促進のためのPRなども必要と考えるが、子育て家庭のニーズが低いとなれば、事業の見直し又は廃止せざるを得ないとする。 よって利用者促進の努力をしつつ、平成24年度実績を踏まえ、ニーズがないと判断した段階で廃止とする。	C A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
(2)第三者による有識者会議結果	
	A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
(3)行政経営戦略会議結果	
	A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止